

2030年に向けての海事産業を考える

～ Innovation, Creation & Challenge ～

平成24年6月18日（月）13:00～17:30

東京大学 本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター

【開催主旨】

寄付講座は海運造船における新技術戦略の研究と人材の創出を目的に活動してきましたが、5年に亘る活動も期間満了となります。これを機に、これまでの活動報告に加え、これからの海運造船、海事産業/海事技術の将来について考えるシンポジウムを開催することにしました。

プログラム前半では、いろいろな視点から“これから”を講演していただきます。後半は寄付講座活動のレビューを行うとともに、技術戦略WGの研究を核に“2030年の海事産業、海事技術を考える”と題してパネルディスカッションを展開していきます。

【プログラム】

開演		開催挨拶 末岡英利(東京大学)
13:00	これからのものづくり戦略	藤本隆宏(東京大学/ものづくり経営研究センター)
13:40	アナリストがみた造船産業のこれから	大野真紀子(みずほコーポレート銀行産業調査部)
14:10	Only One の技術開発への挑戦	田中康夫(日本郵船)
14:40	これからの造船	石川邦照(ユニバーサル造船)
15:10-15:20	<休憩>	
15:20	寄付講座活動のレビューと今後への期待 (ゼロエミッション船、低炭素型シームレス物流、JIP/ウィンドチャレンジャー、等)	末岡英利/大内一之(東京大学)
15:50	パネルディスカッション ～ 2030年の海事産業、海事技術を考える ～	モデレーター:末岡英利
	技術戦略WGからの報告/提言: 児玉義光(ユニ造)、青山和浩(東大)、小磯康(国交省)	
	日本からの発信/スマートシップ: 安藤英幸(MTI、日船工/スマートシップ研究会委員)	
	業界が考える海事クラスター: 松井裕(造工、造工/海事クラスター研究会事務局)	
		及び 講演者の皆様
17:10	海運・造船分野の産官学連携の将来	大和裕幸(東京大学)
17:30		閉会挨拶 大和裕幸

- 【主催】 東京大学 海運造船新技術戦略寄付講座
【共催】 東京大学 大学院工学系研究科システム創成学専攻
【協賛】 日本船主協会、日本造船工業会、日本船用工業会
日本船舶海洋工学会、日本航海学会、日本マリンエンジニアリング学会

将来を担う学生たちも
ものづくりにチャレンジ



ソーラボートの
設計/製作から
レース参加

【申込要領】

申込先 : 東京大学海運造船新技術戦略寄付講座事務局

(末岡教授室秘書 上坂綾子)

E-mail: kousaka@sss.t.u-tokyo.ac.jp TEL&FAX: 03-5841-6547

申込期日: 平成24年6月8日(金)

参加費: 無料(当日受付にてテキストをお渡しします)

(背景写真提供: 日本船舶海洋工学会)



FAX No : 03-5841-6547

(東京大学 海運造船新技術戦略寄附講座 末岡教授室 宛)

参加申込書

下記シンポジウムに参加します。

海運造船新技術戦略寄附講座終了記念 シンポジウム
“2030年に向けての海事産業を考える～Innovation, Creation & Challenge～”

日時：平成24年6月18日(月) 13:00～17:30

場所：東京大学 本郷キャンパス 伊藤国際学術研究センター

参加者氏名： _____

所属： _____

連絡先：(e-mail)

: (TEL)

以上

